

〔谷口総務課長〕民間団体が研究に取り組んでいるが、人材の確保に苦勞している」と聞いている。

〔鷺見委員〕町の公債比率11・8%に対し、今後企業会計の繰出し等はあまり変わらないと思うが財政基準を基にした町長の判断はどうか。また町には270人の非正規労働者がいると言われているが具体的な雇用対策は。更に、担い手対策、新規就農対策について21年度はどうだったのか。

〔小山副町長〕現在の町財政指標は健全な状況にある、基金の積立もあるが今後、公共施設の修繕費や病院の繰出しもある。

〔高田経済課長〕全体的な雇用環境や企業状況を把握し支援体制を検討していきたい。また酪農振興については町として常にバックアップ体制を取っている。

〔西澤委員〕書の研修事業とスポーツ少年団の報酬と謝礼について違いがあるのどのような事か。

〔兜教育次長〕各種事業を取り組む中で、講師の招へい

や回数等々によって、予算編成するものであり、それぞれ意義のある経費となっている。

〔菅原委員〕21年度は国からの地方交付税を始め電源三法交付金等により52億円とかつてない決算となったが、酪農振興では農協からの要望がないという事で足踏みしているのではないか。またここ数年は建設業の倒産もあり町の中が疲弊していると思うが、町長として満足しているか。

〔宮本町長〕電源三法交付金



第39回幌延町民文化祭風景

を始め固定資産税収入でいろいろ活用出来た。特に大型プロジェクトが着手され原子力関連施設のお陰であると私自身理解している。また酪農振興についても後継者対策等に心配をしており基幹産業の灯を消さないよう努力している。

〔北星園特別会計〕

〔斉賀委員〕園舎が新築され21年度の決算上には見られない効果があったか伺います。

〔小西北星園長〕利用者の高齢化と重度化が進む中、新園舎は全館バリアフリー化や個室化が図られサービスが行き届き、利用者間のトラブルが減っている。

〔斉賀委員〕利用者の高齢化が進む中での生産物収入計画はどのように考えるか。

〔小西北星園長〕天候に影響されないハウス栽培に重点を置き、機械化を図りながら生産効率を高めて行きたい。

〔介護保険特別会計〕

〔鷺見委員〕低所得者に対す

る利用者負担軽減処置を条例制定し実施する考えはないか。(近隣町村の殆どは実施)

〔瀬戸町民課長〕制度等々、近隣の町村を参考に新年度に向けて検討したい。

〔町立病院〕

〔菅原委員〕問寒別診療所は現在月2回出張診療していると思うが建物の老朽化が進んでいる。今後内・外装の改修の考えはあるか。

〔鈴木病院事務長〕22年度から旭川医大からの派遣医の都合で月1回に変更しており、地域の皆様には大変不便をかけている。診療所改修の件は今年度は外壁と屋根を改修することとしており、今後必要な箇所については引き続き補修し診療所の維持管理に努めていく。

〔高橋委員〕病院経営健全化のため医師研究手当の見直しを行っているがどの程度か。

〔鈴木病院事務長〕平成19年度までは月額百35万円の支給でしたが20年度で月額70

万円、21年度からは30万円に減額している。

〔斉賀委員〕21年度の医療機器の更新は予定通り実施されたのか。

〔鈴木病院事務長〕当初予算で冷凍庫の購入を予定していたが診療所計画の中で更新することにし見送りをしている。

〔吉原委員〕今後診療所に変わり一般会計からの繰入れ額がどう変わるのか。旭川医大からの医師派遣は引き続き可能なのか伺います。

〔鈴木病院事務長〕今後病院から診療所へ変わってもすぐには一般会計からの繰入れ額の大幅な減額にはならないが将来的には相当な繰入れ額の削減ができるかと考える。旭川医大からの出張回数は現在原則月3回に変更となっており、派遣されない週については、北海道地域医療財団から派遣医の紹介を頂いているのが現状です。旭川医大の医局医師の不足などから現状では確定的なことは言えない。